



◀クロムツはオモリ150号、アカムツは200号を使用

★当日最大48センチ、1.4キログラムのビッグサイズ。底上4~5メートル付近と高めのタナでヒットした



▲アカムツ仕掛けのハリスには定番のマシュマロボールやフロートパイプなどの浮力アイテムを付ける



▲アカムツのポイントは水深200メートル前後を中心に300メートル付近まで探る
▼日中もクロムツが交じる

**南房江見のぜいたくメニュー
クロムツ&アカムツのワレワレ釣り**

撮影◎椎名義徳



◀いい日は20尾以上の釣果が上がっている



▲筆者も良型クロムツをキャッチ
◀フラッシュャーサビキは船宿仕掛けがおススメ



▲エサは持参だが予約時に注文すれば冷凍ホタルイカを用意してくれる。サバが釣れたらさばいて切り身エサに
▶ルアーも同船OK



▲クロムツのポイントは水深90~170メートル前後

南房江見大夫崎・渡辺丸の周年の看板メニューは中深場の人気魚アカムツ。この時期は早朝の1~2時間フラッシュャーサビキでクロムツ(ムツ)を狙い、周囲が明るくなつてからアカムツに転じるワレワレ釣りスタイルで楽しませてくれる。

10月中旬の取材日は、2ノットの速潮に苦戦し全般にアタリが遠かった。それでも皆さん30~36センチのクロムツを4~10尾確保し、アカムツは48センチの特大大サイズを交えて船中3尾の釣果を得た。

当地のアカムツはこれからが好シーズン。潮具合など条件がそろえば釣果アップも望めるだろう。

(詳細は54ページ参照)



◎南房江見大夫崎・渡辺丸 渡辺 英雄船長